

登録有形文化財 うえのけじゅうたくおもや
上野家住宅主屋

国登録	平成 24 年 8 月 13 日
所在地	本町二丁目
所有者	個人
時代	江戸時代後期



彦根の城下町は、慶長九年（一六〇四）から始まった彦根城の築城に伴い建設されました。

上野家住宅の建つ旧下本町一帯は、城下町建設の当初に着手されたと伝えられる町で、城下町のほぼ中心部に位置しています。当時の旧下本町周辺には、北側に旧下方原町（武家屋敷地）があり、南側には、職人町・上魚屋町などの町屋がひろがっていました。

上野家住宅主屋は、碁盤の目状に造られた城下町の東西に延びる通りの北側に位置し、南側を通りに面して建てられています。東西をつらぬくこの通りは、ちょうど上野家住宅の西側あたりで屈曲しています。この屈曲した部分はくいちがいと呼ばれ、城下町建設の際に意図的に造られたものです。くいちがいは、通りの見通しを遮り、敵の進行を妨げることで、城下町の防御能力を高めるために設けられたといわれています。なお、くいちがいから北側に延びる道は、近代になって設置されたものです。

上野家住宅主屋は、木造平入り形式の中二階建、二列六室通りにわ型の中規模の町家です。

主屋の外観二階部分は、ほぼ当初の形式を残しており、両側面には木枠に漆喰塗の袖壁を備えています。二階壁面は全体をほぼ四等分して、東側から虫籠窓、次に約一間幅の格子窓が二か所、西側の一間部分は漆喰壁となっています。軒裏は腕木で出桁を受け、その上に垂木を乗せた出桁造りとなっています。

上野家住宅主屋は、彦根の城下町の町家の外観を良好な形で残す、江戸時代後期の貴重な建造物として、平成 24 年 8 月 13 日に国の登録有形文化財建造物として登録されました。

彦根市教育委員会 文化財部 文化財課

TEL.0749-26-5833 FAX.0749-26-5899 e-mail:bunkazai@mx.city.hikone.shiga.jp